

こんな訓練を行います ～防災訓練その主な内容～

【市民対象の訓練】

- 発災初動訓練(高山市全域)
防災行政無線やヒッツFM、安全安心情報メールなどで訓練開始情報を発信。最寄りの避難所まで模擬避難を体験します。
- 発災対応型訓練(参加町内会)
けが人の応急手当、初期消火、バケツリレー、消火器・可搬ポンプ操作、倒壊家屋負傷者の救出を行います。
- 飲料水供給訓練(高山会場)
プールなどから造水機で飲料水を供給、試飲します。
- 災害想定図上訓練(DIG)(全会場)
地域の危険箇所、避難所や防災施設、要援護者などを地図上に示す訓練。普段気づきにくい防災上の重要な事柄を確認します。
- 災害情報収集訓練(高山市全域)
屋外拡声器の無線電話で情報収集を行います。訓練中は試験交信が可能です。



【職員・各種団体対象の訓練】

- 被害状況偵察訓練、倒壊家屋救出訓練(高山会場)
民間ヘリコプターによる被害状況偵察訓練と県防災ヘリコプターによる倒壊家屋の救出訓練を行います。
- 模擬被災地対応訓練、被災情報収集・伝達訓練(全会場)
ウェブカメラと携帯電話を使用し、被災地の動画映像を本部パソコンなどへ送信し状況を確認します。

【その他の特徴的な訓練】

- 応急救護所開設運営訓練(高山会場)
救護所用の大型エア TENT、医薬品および医療器材を収納したコンテナを積んだトラック1台と専門チームからなる「dERU(国内型緊急対応ユニット)」の応急救護所開設運営を行います。
- 避難者安否情報確認訓練(高山会場)
避難所での避難者登録の情報をインターネット経由で安否確認できる「安否情報確認システム(20年4月運用開始)」の即応訓練と市民への周知を行います。
- 地震体験訓練(高山会場)
地震体験車による地震体験訓練を行います。
- 緊急地震速報発令訓練(高山市全域)
訓練の開始に合わせ防災行政無線による発令訓練を行います(サイレンの吹鳴音をご確認ください)。
- 消防団地域連携訓練(アルコピアスキー場駐車場)
南大野地域の消防団支団が連携した訓練を行います。
- 避難所設営訓練(高山会場)
被災時戸建て住宅(間伐材を使用した仮設住宅)を組み立てます。
※この他、民間団体が多数参加してそれぞれ災害対応の訓練を行います。

緊急地震速報

強い揺れの前に 情報伝達

震度4以上予測時にお知らせします

緊急地震速報の運用が昨年

10月からスタートしています。この「速報」は、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析し、震源の位置や地震の規模を予測。これに基づいて強い揺れが想定される地域を、強い揺れが来る前にお

知らせするものです。

「速報」は、視聴中のテレビやラジオなどいろいろな方法で伝えられますが、高山市では、震度4以上の地震が発生すると想定される場合、防災行政無線の屋外拡声器で市民のみなさんにお知らせしま

確認してください。

す。

「速報」を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間は、数秒程度しかありませんが、素早く情報を知ることができれば、到着するまでに自分の身を守るための行動が可能となります。周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保することが大切です。なお、総合防災訓練でも緊急地震速報のサイレン吹鳴を行いますので、吹鳴音をご

確認してください。

たかやま 市民カレッジ

『地震と防災を考えよう』

地震の発生メカニズムや地震についての正しい知識、今後起こりうる地震やその防災対策などについて講義していただきます。

- 講師 ^{いずたに やすお} 泉谷 恭男さん(信州大学工学部教授)
対象 市内在住、在勤、在学の方(高校生以上)
期日 10月3日(金) 午後7時～9時
場所 市役所(花岡町2)
入場料 無料
持ち物 筆記用具
定員 100人(超えた場合は抽選)
申込方法 9月22日(月)までにTEL、FAX、HP
(住所・氏名・電話番号を明記)

問合先 生涯学習課
☎35-3123

●防災行政無線の通報内容が確認できます。専用ダイヤルTel 35-6000(通話料がかかります)